

おでかけだより

秋号 NO. 47
2015年10月1日

発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 恭子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

これからの地域福祉のキーワードは

「地域包括ケアシステム」

「2025年問題」が取り沙汰されています。2025年問題とは、団塊世代が75歳以上（いわゆる後期高齢者、要介護率が高くなると言われている）になり、介護需要がピークに達する時に起こってくる問題です。あと10年！ 国も自治体も市民も智恵を絞って、力を合せて対策を講じる必要があります。

そのキーワードが「地域包括ケアシステム」です。近頃はいろいろな場面で目にする言葉だと思いますが、では地域包括ケアシステムとは？

暮らしやすい住まいで医療や介護を受けられる環境をつくり、住民同士が見守り等により相互に支えあい、高齢者が住み慣れた地域で、さいごまで自分らしい暮らしを続けることができる仕組みのことです。住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケア」を推進していきます。本年4月から介護保険制度も改定され、この「地域包括ケアシステム」の構築が組み込まれています。

杉並区でも、2013年度からモデル地域を設定して取り組みを進めており、今年度は介護予防・生活支援サービス事業の地域でのネットワークづくりが進められています。私たち「おでかけサービス杉並」も、外出支援（移動サービス・もび〜る）、居場所づくり（けやきの見える家）、生活支援（NEKOの手サポート）などの実績を基に、区主催の（仮称）生活支援ネットワーク連絡会に参加しています。

フォーマルな制度がやるべきこと、インフォーマルな市民（住民）の手によるささえあい、互助の取り組みが担うべきことを連携付ながら、豊かな地域福祉をつくっていききたいと思います。



都内全戸配布の黄色い『東京防災』の冊子はお手元に届きましたか？

『備えあれば憂いなし』と言いますが、最近の災害を思うとどれだけ備えれば良いのかと不安になります。冊子を見ると、身の守り方や身近なもので工夫する対策例も紹介されていたので、参考にしたいと思います。そして、いざとなったら互いに助け合う。それには普段からの顔の見えるお付き合いも大切ですね。私はよそ者ですし、仕事をしているのでなかなか地域とつながるチャンスがありませんが、顔が合ったらまず笑顔で挨拶することを心がけています。また、日頃から身の周り（特に上方）をよく観察しどこに危険が潜んでいるかを察知する訓練を一人密かに行い、災いに備えています(笑)。

コーディネート
つうしん



野口 恭子



「オープンリビングけやきの見える家」が 1周年を迎えました!

地域の居場所づくりを目指して、昨年10月2日にオープニングイベントを行った「けやきの見える家」が、多くのボランティアの方々や地域のみなさまに支えられながら、開設以来1周年を迎えることとなりました。昨年の10月9日から毎週木曜日の午後には開いているサロンは、今年の9月8日現在で48回を数え、この間、来訪されたご利用者の数は延べ1,059名に達します。

また運営を助けてくださるボランティアの参加は延べ269名、その他の協力者や見学者を含めると延べ1,667名の方々に「けやきの見える家」を訪れていただきました。開設当初はほとんど皆無であった男性のご利用者も、今年に入ってから少しずつですが来られるようになり、ご夫婦での来訪や友達同士で誘い合っただけでなく、またお子様連れでのご利用も増えてきています。運営主体である「おでかけサービス杉並」としては、大変ありがたいことと感謝と喜びを感じております。

この「けやきの見える家」のサロンが、ともかくこの1年継続して活動してこられた要因としては、ケア24善福寺を始めとする地域の協力や、行政の支援を頂いたことは勿論ですが、毎回献身的に、そして熱心にサロンに携わってこられたボランティアの方々の存在を抜きには考えられません。このようなボランティアの方々が数多く身近に存在することが、誰にも住みやすく安心して暮らせる地域をつくっていくに必要な条件になるのだろうと強く感じます。

「けやきの見える家」の活動はまだ始まったばかりです。この1年はサロン（地域の居場所）の開催という活動を行ってききましたが、これからの新しい介護保険制度の中で求められる“地域のたすけあいの仕組み”をつくっていく中で、多くの方々と協力しながら必要な役割を担っていきたくと考えています。



新人運転協力員



杉並に住んで早18年、今年の春定年退職を機会に、これからは地域の方のサポートと自分自身の励みにしたいと考え、春の「移送サービス運転協力者講習」を受講し、修了後「おでかけサービス杉並」に登録いたしました。

微力ながら、安全・確実な運転を心掛けサービスに努めていきますので、よろしく願いいたします。



長谷川 洋二

通算40年近く住み慣れた杉並の地で過ごすことが増えてきた今年、何かチャレンジしたいと模索していた時に、すぎなみ地域大学の記事が目にとまりました。今までの経験に限られた時間の中で活かせる場は、まさにこれに違いない！と一念発起。えっ、本当にやるの？といぶかしがる主人を横目に、凡々とした日常で得られない使命感や緊張感を皆さまから授かっています。

安全運転を信条に、気配りのある運行員を目指したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



武田 清美

